学校番号	105

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「　MOUSA Ⅰ　」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演奏の授業では、歌唱・器楽の分野で様々な音楽体験を行います。色々な形態・ジャンルにチャレンジして、音楽を生涯楽しむことができる基本的な技能を身に付けていきましょう。
・鑑賞の授業では、聴くだけではなく音楽の構造や文化的・歴史的背景に触れ、多角的な視野で楽しみながら音楽的な見方・考え方を身に付けていきましょう。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現（歌唱・器楽）及び鑑賞、創作の学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	アヴェマリア 校歌 花 ぼくはぼく	a:正しい発声に必要な姿勢・喉の開け方・身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 b:楽曲にふさわしい発声方法を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況
	器楽	第三の男のテーマ	a:基本的な奏法・身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音色・リズム・速度・旋律等音楽要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこと、感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて、表現意図をもっている。 c:曲想とギター等の音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況

2学期	器楽	日曜日よりの使者 星に願いを	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法・身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、演奏の仕方について表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色・奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度 状況
	鑑賞	雅楽 先住民の合唱 ガムラン	a:世界各地や日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:世界各地や日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。	学習プリント	観察 学習プリント	観察 課題進度状況

3学期	歌唱	冬景色 美女と野獣 言わない	a:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱表現の特徴及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度 状況
	創作	コード進行をもとにメロディーをつくろう	a:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。 c:音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作活動に取り組もうとしている。	学習プリント	聴取 学習プリント	観察 課題進度 状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度